SuperTAINSまでの歩み

TAINS 運営委員会

昭和 62 年 4 月

情報科学委員会のもとに TAINS 専門委員会を設置。

昭和 63 年 4 月

TAINS 専門委員会のもとに総合情報ネットワークシステム (TAINS) 運営委員会を設置。 TAINS(現在の呼称 TAINS88) の運用開始。

平成 6 年 1 月 17 日

情報科学委員会において，次期総合情報ネットワークシステムの構築を TAINS 専門委員会で検討することを承認。

平成 6 年 3 月 7 日

TAINS 専門委員会において，次期総合情報ネットワークシステムとして，『超高速バックボーンネットワークシステム』の基本構想が了承される。具体的な設計の検討は委員長および専門家からなるワーキンググループで進めることとする。

平成 6 年 3 月 14 日

情報科学委員会において，基本構想およびワーキンググループ設置を承認。設計原案の作成をワーキンググループに一任。

平成 6 年 3 月~ 4 月

TAINS 専門委員会，UNIX 研究会・インターネット研究会のメンバーを中心としたワーキンググループにより，基本設計の原案を検討。

平成 6 年 4 月

超高速バックボーンネットワークシステム仕様書完成。入札の結果，NTT が落札。工事開始。

平成 6 年 7 月 1 日

TAINS 運営委員会で超高速バックボーンネットワークシステム計画の経緯が説明される。同計画推進のため，技術運用検討小委員会を設置することを決定。

平成 6 年 7 月 21 日

技術運用検討小委員会第１回会合。検討課題を，1. 技術, 2. 運用組織, 3. 運用規程, 4. 広報, 5. アプリケーションおよびデモンストレーション, 6. 研究開発 7. インハウスネットワーク, 8. 外部網接続, 9. 雨宮，富沢キャンパス接続の９項目に大別する．課題１の検討のためワーキンググループ１ (WG-1) を，４の検討のためワーキンググループ４ (WG-4) を設置する。

平成 6 年 7 月~ 9 月

技術運用検討小委員会， WG-1, WG-4 をそれぞれ週１回程度開催。技術課題，運用体制，広報のあり方等の諸問題の集中的な審議を行う。

平成 6 年 9 月 1 日

学報に『SuperTAINSの設置のお知らせ』を掲載。

平成 6 年 9 月 30 日

TAINS 運営委員会において，超高速バックボーンネットワークシステムの愛称をSuperTAINSと決定。技術運用検討小委員会から，検討経過を中間報告。 UNIX 研究会から，SuperTAINS構築後の IP アドレスの割当て方針を報告。

平成 6 年 10 月~ 平成 7 年 2 月

技術運用検討小委員会， WG-1, WG-4 において各方面の検討を続行。

平成 6 年 12 月 6 日

SuperTAINS竣工時のデモンストレーション行事の検討のため，ワーキンググループ５ (WG-5) を設置。

平成 6 年 12 月 22 日

SuperTAINS説明会を開催。

平成 7 年 1 月 31 日

TAINS 運営委員会において，運営規程等の原案を承認。SuperTAINS竣工を報告。TAINS 運営委員会の下に技術専門委員会と広報専門委員会を設置することを申し合わせる。

平成 7 年 2 月 1 日

SuperTAINS 運用開始。

平成 7 年 2 月 15 日

『SuperTAINSニュース第 1 号』発行。

平成 7 年 2 月 28 日, 3 月 1 日

SuperTAINS完成披露のためのデモンストレーション開催 (予定)。